

岩手県立高田高等学校 広報



令和5年度 第9号

八重の汐

技 創
錬 至
磨 誠
造 造

文責：副校長 佐々木直人

修学旅行楽しんできました

十一月二十四日(金)～二十八日(火)、二年生は、四泊五日で関西方面に修学旅行に行ってきました。日程は以下の通りです。

一日目：陸前高田―ノ関駅―東京駅―京都駅―金閣寺
二日目：奈良公園(東大寺・春日大社)―奈良国立博物館―薬師寺
三日目：京都班別自主研修
四日目：清水寺―ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
五日目：海遊館―新大阪駅―東京駅―ノ関駅―陸前高田
体調を崩す生徒もなく、天候にも恵まれ、修学旅行を楽しむことができたようです。今後の高校生活も楽しみましょう！



佐々木拓陸前高田市長による講話

十二月十三日(水)、海洋システム科の二・三年生に対して、佐々木拓陸前高田市長による講話が実施されました。

佐々木市長は、陸前高田市広田町出身、本校OBであり、東京水産大学を卒業後、農林水産省において水産行政に携わってこられました。その経験をもとに、気仙地区や日本の水産業に関する講話が行われました。

気仙地区の水産業の可能性についての話や、高校生のアイデアを市政にかしたという話もありました。講話の後に質疑の時間もあり、時間いっぱいまで、先生と生徒から質問が出され、関心の高さがうかがえました。



佐々木市長には、大変お忙しい中、本校まで出向いて講話をして頂きました。ありがとうございます。ございました。

京都工学院高校との復興防災減災連携学習

十二月二十二日(金)、本校において京都市立京都工学院高校との復興防災減災連携学習が実施されました。本校は二年生十九人が、京都工学院高校からは生徒十一人(男子八人、女子三人)と教員二人が参加しました。

本校紹介の後、京都工学院高校における防災の取り組みが紹介されました。その後、九グループに分かれ、自己紹介とグループごとに探究テーマを話し合いました。準備が終わった



ところから学校から歩いて陸前高田市の中心市街地にフィールドワークに向かいました。

フィールドワークの後、さらに具体的な探究テーマを決め、フィールドワークの結果を踏まえてデイスカッションを始めました。そして各グループでワークシートをまとめ、スクリーンに表示しながら発表を行いました。

発表終了後は京都工学院高校の有本先生から講評をいただきました。短時間でテーマ決定やフィールドワーク、考察を進め、上手に発表できたことを評価していただきました。

ただ、人口減少が進み、成長が鈍化した社会の問題を解決していくためには、若い人らしいもつと大胆な発想が必要との言葉もありました。

最後は生徒全員で記念撮影をして連携学習は終了しました。生徒たちは連絡先を交換してお別れました。

本校で養殖したカキを販売しました。

十二月五日(火)、海洋システム科の二年生が、自分達で養殖したカキを職員に販売しました。カキの市販はしておりませんが、海洋システム科が作っている製品で市販

されているものとして「さばの缶詰」があります。陸前高田の道の駅で売っています。



本校の公式ホームページにアクセスするQRコード



note における本校のページにアクセスするQRコード